

なでしこ

SAISEIKAI O MUTA HOSPITAL SEASONAL REPORT

Vol. **2** 2024.7

SPECIAL ISSUE

教えて! **Doctor** 特集
胃腸科医長
向坂 秀人 医師



We ensure the safety of the local community.

外科医 **福田 純也** 医師

Dr. Junya Fukuda

福岡県(久留米市)出身
平成27年3月 久留米大学医学部卒業

【職歴】
佐世保済生病院
大牟田市立病院
済生会大牟田病院
久留米大学外科学講座 下部消化管研究グループ、救命センター
標津国保病院

【資格・認定】
一般社団法人日本外科学会 外科専門医
腹部救急認定医

麻酔科医長 **藤本 実** 医師

Dr. Misuru Fujimura

福岡県出身
平成15年3月 福岡大学医学部卒業

【職歴】
国家公務員共済組合連合会千早病院
地方独立行政法人北九州市立病院機構
北九州市立医療センター
公立玉名中央病院
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
荒尾市民病院

【資格・認定・所属学会】
麻酔科専門医
日本麻酔科学会
日本臨床麻酔科学会

ともに
地域の安心を守ります。

<https://omuta-saiseikai.jp>

TOPICS

快晴のグラウンドで 親善ソフトボール大会開催!



福 岡市で6月16日、第46回済生会九州ブロック親善ソフトボール大会が開催され、九州各地から集まった12チームが練習の成果を競い合いました。第1試合は日田チームと対戦。大牟田が満塁ホームランを含む2つの本塁打で10対4と大勝しました。続く第2試合、強豪熊本チームとの戦いは相手ピッチャーの好投もあり、10対2で惜敗しました。最終第4試合、みすみチームとの対戦。午後の強烈な日差しの中、連投を重ねたエースが指先の不調から途中降板。先頭打者ホームランや連続安打などで4点をもぎ取るも、相手チームの猛攻に13得点を許し、13対4で大会を終えました。全国大会への切符を手にしたのは熊本チームと唐津チーム。大牟田はグラブスラムを含む2本の本塁打を放った小林選手がホームラン賞を受賞しました。



看護部
松岡 咲季
Saki Matsuko

入 職から3カ月が経ち、新しいことを覚えているのは大変だと感じることがありますが、業務にも少しずつ慣れてきて、仕事の楽しい部分も感じる余裕が出てきました。先輩方が気にかけてくれるので、出来ることを増やしていけるように頑張っていきます。



薬剤部
三輪 倫子
Michiko Miwa

私 は今、日々の業務の中で先輩方の優しいサポートのもと、多くのことを学び吸収しています。将来的には、学んだことを活かし、地域医療に貢献するとともに、小さなことでも気軽に相談してもらえるような身近な存在の薬剤師になりたいです。

Newcomer
新入職員の紹介!

オンライン診療のご案内



受 診中の患者さんを対象に、ビデオチャットを利用したオンライン診療を行っています。アプリを通じて24時間いつでも予約ができるため、営業時間外でも予約が可能です。詳しくは担当の医師までお尋ねください。

受診可能な時間 (月曜～木曜) 14:00～15:00
(金曜) 15:00～16:00

外来診療担当医師一覧表 (2024年7月1日現在)

【外来受付時間】午前 8:00～11:30 午後 13:00～16:30

【予約受付対応時間】平日13:00～17:00(各科外来にて承ります) ※緊急、当日予約、キャンセルはこの限りではありません。

診療科	月	火	水	木	金	
胃腸内科 放射線科	午前	向坂 秀人/松岡 大介	稲吉 康治/田淵 史典	稲吉 康治/船越 禎広	向坂 秀人/田淵 史典	稲吉 康治/向坂 秀人
	午後	向坂 秀人/田淵 史典	向坂 秀人/田淵 史典	向坂 秀人/田淵 史典	向坂 秀人/田淵 史典	向坂 秀人/田淵 史典
内科	午前	永迫 久裕	古賀 翠	蓮尾 友里	平野 晋資	木村 誠二
	午後	菊池 真介	菊池 真介	蓮尾 友里/永迫 久裕	佐々木 潤	古賀 翠
呼吸器内科(禁煙外来)	午前			田尻 守弘	佐々木 潤	木村 誠二
	午後			田尻 守弘	佐々木 潤	
循環器内科	午前	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也
	午後	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也	松下 哲也
内分泌・糖尿病内科	午前	岩屋 智加予	古賀 翠(～12:30) 永迫 久裕	岩屋 智加予	岩屋 智加予/永迫 久裕	古賀 翠/満岡 遼
	午後	岩屋 智加予		岩屋 智加予/永迫 久裕	甲状腺細胞診	古賀 翠(～16:00) フットケア診療
膠原病内科	午前					古賀 琢真
	午後					古賀 琢真
脳神経内科	午前	菊池 真介	藤本 浩		平野 晋資	
	午後	菊池 真介	菊池 真介			
外科	午前	福田 純也	松尾 敏弘	内田 信治/末吉 晋	福田 純也/唐 宇飛	松尾 敏弘/末吉 晋
	午後			定例手術(急患の場合はご相談ください)		
泌尿器科	午前	豊澤 徳行	伊東 直城	豊澤 徳行	豊澤 徳行	豊澤 徳行(予約・再来のみ)
	午後	結石破砕術	手術	結石破砕術	手術	
整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科	午前	古畑 友基 上田 淳 竹下 修平	竹下 修平/上田 淳	古畑 友基 野崎 修(9:00～12:00)	古畑 友基/竹下 修平	上田 淳 石井 英樹(第1,3,5) 野崎 修(第2,4)
	午後				【脊椎外来】 前田 和政(第1,3) (14:30～)	
脳神経外科	午前のみ					江藤 輔聖
	午後	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子
婦人科(16:00まで)	午前	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子
	午後	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子	上杉 佳子
健診センター	午前のみ	魚住 淳	本廣 賢子	魚住 淳	魚住 淳/本廣 賢子	魚住 淳

※赤字は女性医師

患者の苦痛に 寄り添って

「大牟田に来て、80〜90代の高齢の患者さんが元気にスタスタと歩いて来院されていることに驚きました」。3年前に福岡

大学病院から済生会大牟田病院胃腸科に医長として就任した向坂医師。院長とともに3名体制で外来診療を行い、消化器疾患の患者を主に診療しています。また常勤の医師とともに内視鏡検査・治療も行っています。

治療困難な消化器癌の内視鏡治療や潰瘍性大腸炎のクローン病といった慢性炎症性腸疾患の治療などが多かった大学病院勤務時代と比べ、現在は胃食道逆流症(逆流性食道炎)や慢性便秘症の患者が約8割を占めているとのこと。高齢化やストレスによる胃腸機能の低下が原因で、胃腸科では話し合いの上で内服薬が処方されています。

Profile | さきさか・ひでと |
福岡大学出身。福岡大学病院消化器内科を経て2021年に済生会大牟田病院胃腸科医長に就任。



通常、胃腸科では午前中に通常20人前後の外来診療を行い、午後は大腸カメラや内視鏡治療を行っています。なかでも内視鏡検査数は年間約3,000件。有明地区ではトップクラスの検査数となっています。そのような中、向坂医師が熱心に取り組んでいるのが医療の効率化と患者の負担軽減です。2年前には検査精度の向上を目的に最新の内視鏡システムを導入したほか、昨年は内視鏡専用のリカバリー室を新設、検査台をストレッチャータイプに変更することで、患者がベッドから降りることなくリカバリー室に移動して休めるように工夫しました。さらに、リカバリー室には大腸検査前の下剤を服用するスペースも設けられています。大腸検査中に見つかった小さいポリープに関しては、同意があればその日のうちに切除することもできます(日帰りポリープ

2人に1人ががんになり、罹患すると言われる時代
最前線で働く
胃腸科医師が考え続ける
患者のために
大切なこと

内視鏡検査数は 年間約3,000件! 安心して受診できる環境を 考え続ける若きドクター

SAISEIKAI OMUTA HOSPITAL
SEASONAL REPORT
Special Issue

切除)。また、胃の症状に対しては「Fスケール問診票」を用いて腹部症状を点数化、薬の調整で改善したかどうかを患者と客観的に評価し、絵を描いたイラストを用いて自身の疾患についてできるだけ理解できるように取り組んでいます。

伝えたい医療の力

そんな向坂医師が消化器を専門とするようになったきっかけは、父が福岡大学消化器内科の教授であったこと、そして研修医として初めて内視鏡を触ったときの高揚だったと言います。まるでゲームのコントローラーのように内視鏡を操作して検査や治療を行い、病気を治すことができる。その科学の力に魅せられたのです。

昨年開催された「おおむた産業フェスタ」の胃カメラ体験やアニサキスの展示には、多くの子どもたちが遊びに来てくれました。実際に医療機器に触れることで、「自分と同じように人体や医療に興味を持ってくれると嬉しい」と向坂医師は頬を緩めます。

腹痛は最も一般的な自覚症状で誰もが経験するものである一方、食事が摂れなかったり眠れなかったりと日常生活を送る上で辛い症状の一つです。そんな症状を取り除き、普段の生活を取り戻す手助け、まずはそれが消化器内科の使命だと向坂医師は言います。「長年便秘で毎日浣腸しないと便が出なかったけど、先生のおかげで浣腸しないで便が出るようになった」「今まで下痢で外出できなかったけど、下痢が止まって海外旅行に行けるようになった」と報告された時はとても嬉しかったそうです。

早期発見、早期治療 ご家族の安心へ

毎日電車や自家用車で通勤し、忙しい毎日を送っている向坂医師。そんな二児の父がとても大切にしているのが家族との時間。「家族と一緒に福岡市内をサイクリングしたり、日帰りで温泉に行ったり。5月には次男を抱っこして福岡タワーの577段の階段を上りました」と、週末は家族との時間を大切にしています。

2人に1人ががんに罹患すると言われる現代、日本におけるがんの罹患率は、1位が大腸がん、2位が肺がん、3位が胃がんです。

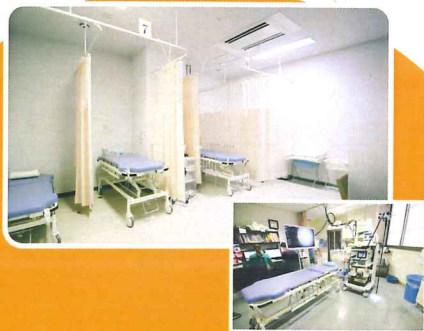
「大腸がんや胃がんなどの消化器がんは、早期発見・早期治療のためには内視鏡検査を受けなくてはなりません。当院では胃がんの原因となるピロリ菌の治療も行っています。一方でピロリ菌を除菌したとしても、数年後に胃がんが発見されたとの報告が多数あるのが現状です。そのため、胃腸科ではピロリ菌の除菌をして終わりではなく除菌後も定期的に内視鏡検査を勧めています。また、当院で大腸カメラを受けた患者さんの約8割以上の方に大腸ポリープ

が見つかっており、それが大きくなると大腸がんに進行してしまうこともあります。進行する以前にポリープを見つけ、早期治療することが大切。女性で大腸カメラに抵抗があるという方は、内視鏡検査を行う女医もいます。そんな方はお気軽に胃腸科へご相談ください。」

済生会大牟田病院のお医者さん
教えて! Doctor

向坂 秀人 医師
Dr. Hideto Sakisaka

福岡県済生会大牟田病院
胃腸科医長



苦しむ患者のために
できることを一つ一つ

患者の負担軽減と病床数確保のために新設したリカバリー室(内視鏡回復室)。胃カメラや内視鏡を使った検査を行った後、ストレッチャー型のベッドをそのまま運び込むことで、負担なくスムーズに患者を休ませることができ、Wi-Fiも完備し、静かに音楽を聴くことも。

